

小林足寄町政の新体制へ

臨時足寄町議会

富田助役を全会一致で

足寄町助役の沼田一氏の退職にともない後任助役に臨時足寄町議会の選

任に同意を求めるための臨時第二回足寄町議会は十九日にひらかれ、全会一致の

期はあるが二十三日に話し合ひをして、執行体制

強化のため新しい助役を選任したいと話し、十三

日付で退職願が出され、後任は総務課長の富

田君の選任をお願いした、基本的な考え方は当初から

初から戸内から起用を原則とした、昭和四年うま

れで若いが、本人のひとがらと努力で生きても死

ぬるも一身体となつてゆける、戸内での最優任として同意を求めたい

戸内からの起用を原則とした

この日の議会は午前十時に開会(欠席は遠山、阿部両議員)して、新事務局長の山本豊吉氏と前事務局長の土田三郎氏(商工観光課長)からあいさつがあり、十五年以上勤続の大滝議長

斉藤副議長、吉田産業委員長にたいする全道町村議長会長からの表彰状の伝達があつて議事に入り、

議案は「助役の選任同意について」で、富田総務課長を助役に選任したいというもの。

小林町長 六月十三日付で沼田助役より退職願が出された、沼田さんは気の毒に一昨年に右手指の

手術をうけて休まれ、昨年六月にまた同じ状態となり再度手術をし、鋼路労働院から北大病院へ入院して右手首から切断し

矢野議員 人

物には賛意を表するが町長は十ヵ月後に改選期となる、将来紛争のタネをのこす助役人事はさけるべきである、正式には改選期とすべきでないか、来年度の年度がわりがよいのでないか、前町長の助役を三年間も使わなかつた

年もあり、トラブルの例もあり、実質的には助役の仕事はして改選期に議決をすることはどうか久保田議員 第二助役をおけるか考えるが、大滝議長 任期が十ヵ月ではなり手がな

矢野議員 将来紛争のタネをまくことを心配する大滝議長 助役が事故の場合もあり、いまの制度で方法はない小林町長 町長がかつても助役としてシツカリしていればよい矢野助役 実質的に助役の仕事をしてもらい、来年度に議決してはどうか五月に議決してはどうか小林町長 助役の立場でなければ具合が悪い、町長はあまり役場にいないといわれており、管内でも大きい町村であり、助役を空席にすることはさけない、同意を得たい

町長と助役と

○両手をなくして苦闘していた沼田助役と、このためにひと苦勞の小林町長とのあいだは言葉に出せない微妙な立場だったが、このたびようやく協議離婚?

○そのあと添いに、先任の各課長をさておいて富田総務課長のバツテキにささか抵抗を感じた向があつたものの、一般的には小林町長にはふさわしくみあ

わせとの見方で、町民のためのものでありたいもの



町議会助役席の富田新助役

十二月三十一日に退任され、四月に至り満三年つとめさせて頂きたいとのこと、止むを得ず、明年五月二十二日まで任

七月発令に異議

町議会 選任して明日か田助役とするのか長 沼田さんから十付の退職願が出た十五日に退職を発令したが、本人の言いとして三十日間後の自職を希望しているの七月三日まで期間が退職承認の発令をし

要しない

福本議員 辞任には議会の同意は必要ないのか山本事務局長 選任にさいしてはいるが、辞任は町長だけで議会の同意はいらない

辞任は強要しない

福本議員 沼田さんの辞任は、最初辞表を出したなどの論議があつて富田新が保留し、さらに意向を助役の選任については全会一致で同意したあと富田助役 前助役の沼田氏に障害のため退職され、不肖私が助役に選任された、かつて一生の職場として選任し上司、同僚の支援で大過なくつとめさせて頂いた、町長を直接補佐する助知として身のひきしまる思いで、現在の行政をとりまく環境は過疎は厳しく乗り初るのは至難だが、町長の誠実明朗をモットーとして努力したいとのあいさつがあつて午前十一時すぎに閉会しました

足寄町本通り三丁目 T三四五 足寄不動産事務所

調査 売買 あつせん 管理 分譲 代行 登記 損害保険 代理まで 同和、興和火災保険代理店 北海道免許第26 足寄町本通り三丁目 T三四五

技術に生きる！ 一あらゆる電気器具器！ 株式会社 ミネ・デンキ 足寄劇場前 電話142番